

地域おこし研究員説明会

地域金融機関によるファーストマイル分析モデルの開発 -事業性の理解を通じた共創による流通支援策の設計と実践-

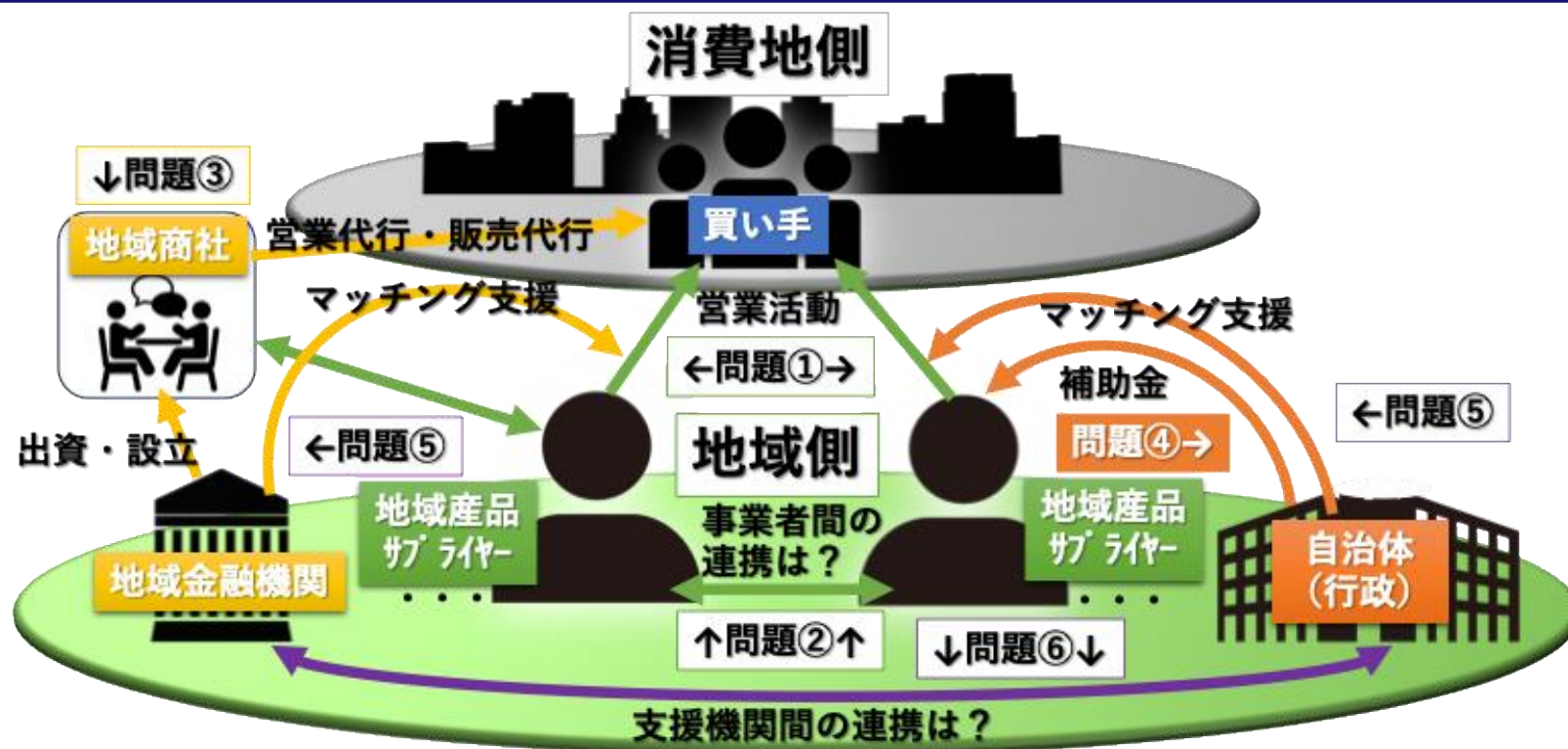
2026年7月31日（金）

慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科
修士2年 石田聖臣

<自己紹介>

氏名	石田 聖臣（いした たかおみ）	
出身	青森県むつ市	
生年	1982年	
所属	株式会社青森みちのく銀行（2006年入行・青森銀行） あおもり創生パートナーズ株式会社（2022年出向）	
地域活動等	青森KEN民塾 事務局長	
主な経歴	青森銀行にて「地方創生担当」セクションとして発足した地域振興部にて、「地方創生分野」を担当し、銀行全体の地域振興支援や、創業・起業等の事業者支援等を牽引。また、銀行営業店においても、事業者コンサルティングを実践しながら、現場を統括した。 <主な担当業務実績> ◆第3次中泊町長期総合計画等策定支援業務（青森県北津軽郡中泊町） ・総合計画、創業戦略策定に向けた、実態調査、住民意向調査、町内ヒアリング、ワークショップ運営 等 ◆地域おこし協力隊募集支援業務（青森県上北郡東北町、同七戸町他） ・地域おこし協力隊募集に係る業務全般 等 ◆地域交通サービス実態調査業務（青森県上北郡六ヶ所村） ・村内交通実態調査、住民代表ヒアリング調査 等 ◆宿泊施設生産性向上促進業務（青森県） ・宿泊事業者のコンサルティングの実施 等	

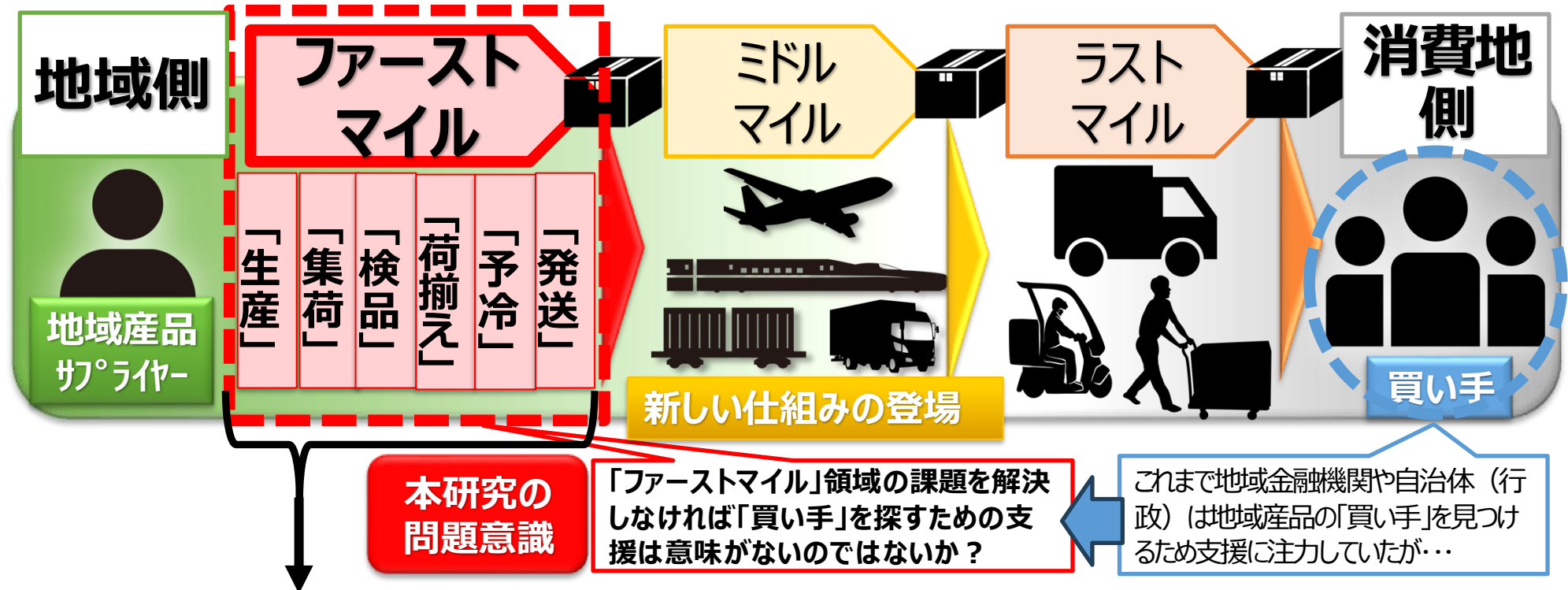
研究背景～構図と抱える問題～



分類	抱える「問題」
地域産品サプライヤー	① 地域外へ販路開拓するノウハウや人員が不足している ② 事業者間連携がない
地域金融機関	③ 地域商社は半数以上が収益的に苦戦
自治体（行政）	④ 補助金主体の支援の限界
支援機関共通	⑤ 支援実施後のフォロー体制がない ⑥ 支援機関が類似の支援を展開

研究の目的

ファーストマイルとは、事業者から物流拠点までのモノの移動を指すのではなく、以下の品質維持を含めた商品価値に直結する一連の地域側の工程を指し、本研究では地域金融機関によるその中の課題の分析・把握手法と解決方法を開発する。



研究目的 ①

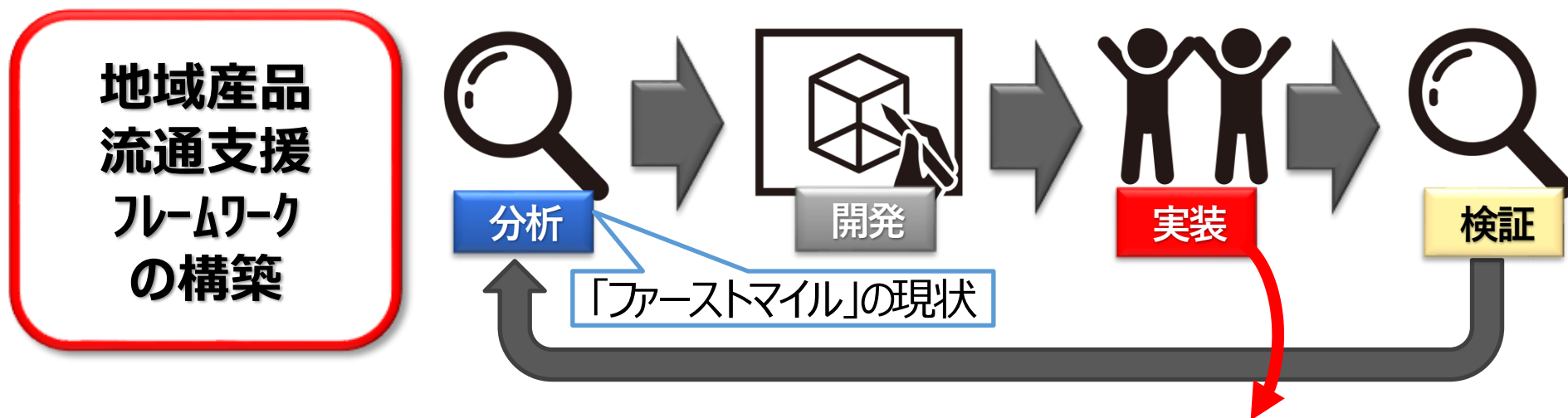
“外貨”を稼ぐ前提となるこの地域側で行われる工程の中で何が課題となっているのかを明らかにする

研究目的 ②

「研究の目的①」を地域金融機関としてどのように把握しどのように解決に導くかを開発し実践する

本研究が目指す成果

地域産品サプライヤーの最も身近にいる地域金融機関がファーストマイルの問題を把握し、分析する手法を開発することで、地域産品の地域外へのスムーズな販売に寄与することを目指す。

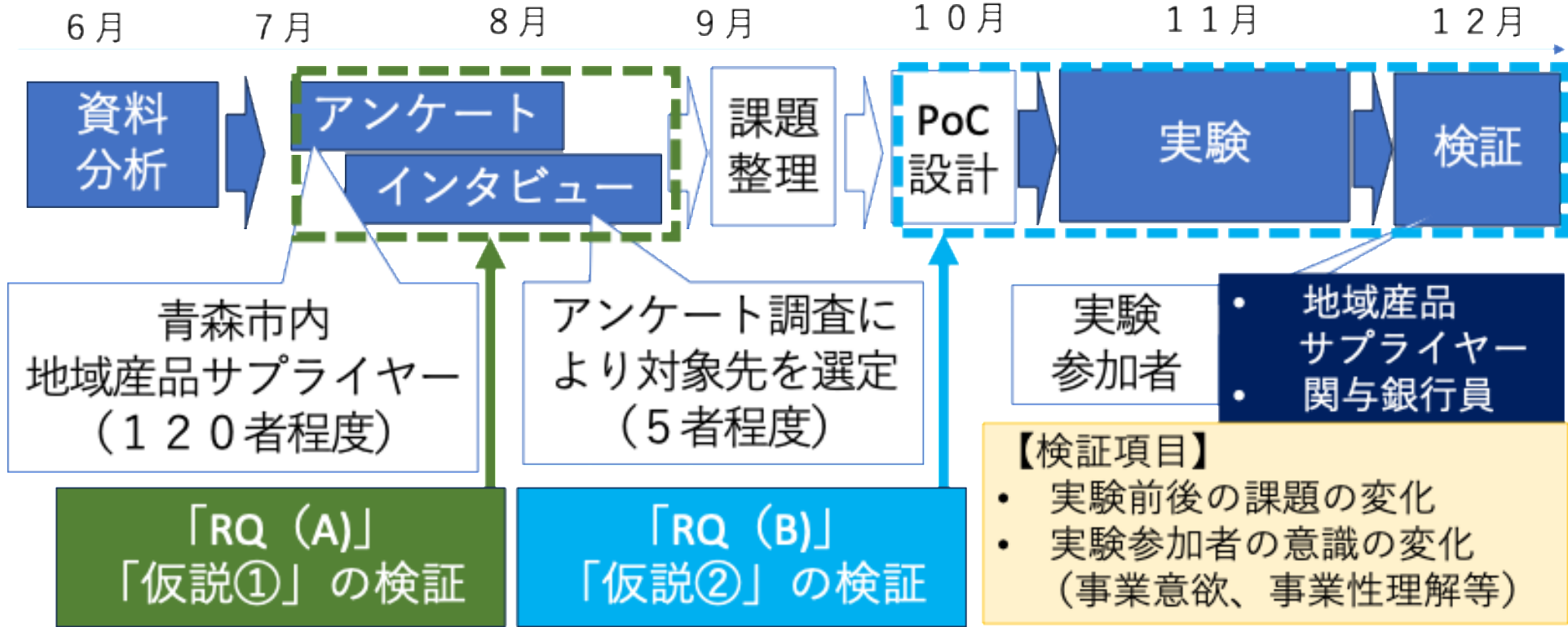


具体的取組



今後の展開

まず、地域産品サプライヤーに対するアンケート調査とそれに基づくインタビュー調査を実施し、その結果に基づき課題整理、PoC設計を実施し仮説の検証を行う。



Research Question	A	なぜ、ファーストマイル側で地域産品を地域外に販売し“外貨”を稼ぐための課題が発生するのか？
	B	ファーストマイルの課題を把握し解決するためにどのような手法が有効か？
仮説	①	地域産品のファーストマイルの課題はノウハウやリソースの不足に起因する。
	②	地域金融機関がファーストマイルの課題を客観的に把握することでその解決に寄与できる。